

ELO、RED HAT ソリューションで オンデマンド・インフラストラクチャを提供



ソフトウェア

Red Hat® Enterprise Linux®

Red Hat OpenShift®
Container Platform

Red Hat Ansible® Tower

Red Hat Satellite

Red Hat Gluster® Storage

サービス

Red Hat テクニカルアカウント
マネージャー (TAM)

Red Hat コンサルティング

ハードウェア

Dell PowerEdge R730
2S/2U ラックサーバー

ブラジルのペイメントカード会社である Elo Serviços S.A. は、創業以来急速な成長を遂げています。しかし、市場では革新的な金融テクノロジー (FinTech) の新興により、競争が激化しています。Elo は競争力を維持するために、管理を単純化し、市場投入時間を短縮する、アジャイルで効率的な IT 環境のデプロイ方法を求めています。Elo は Red Hat OpenShift Container Platform や Red Hat Ansible Tower など、Red Hat のエンタープライズ向けオープンソース・ソフトウェアを採用することにより、顧客サービスとアプリケーションをより迅速にデプロイ、管理、更新できるようになり、従来からの競争においても FinTech の競争においても優位性を維持しています。



金融サービス

従業員**115 名**
カード発行数
1 億 1500 万枚

「Red Hat OpenShift を使用すると、
1 - 2 週間で概念実証 (PoC) を計画し
完了できるため、開発の成果物を
より早く本稼働へと進めることができ、
競争上の優位性を保つことができます」

ANDERSON AGAPITO 氏
ELO IT インフラストラクチャ担当マネージャー

利点

- サーバーのデプロイにおける
所要時間を 45 日間から
1 - 2 日間に短縮し、
サービスの市場投入時間を
短縮
- 自動化の活用により管理を
単純化
- PCI-DSS 認証の取得など、
コンプライアンスと
セキュリティを強化
- エキスパートによる
ガイダンスを利用



facebook.com/redhatjapan
@redhatjapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com

急速に成長する市場で競争力を維持

ブラジルのクレジットカード会社である Elo Serviços S.A は、国内大手銀行の 3 つである Banco do Brasil、Bradesco、Caixa Econômica Federal のジョイントベンチャーとして 2011 年に設立されました。Elo は 2017 年末に 12% の市場シェアを獲得しました。

Elo は、スタートアップのようなビジネスアプローチを維持することに重点を置いています。このアプローチの一環として、絶えず変化する市場の要求に応え、競争力を維持するために、アジャイルでスケーラブルな IT インフラストラクチャを求めています。

Elo の IT インフラストラクチャ担当マネージャー、Anderson Agapito 氏は次のように述べています。「私たちは従来型の銀行より一歩先を進んでいなければならず、FinTech の新興による新たな競争にも直面しています。そのため、新しい製品、サービス、プロモーションの市場投入時間が要となっており、IT の問題によって阻まれるわけにはいきません」

Elo は、仮想マシン (VM) を使用してアプリケーションを迅速に開発、デプロイできる新しいプラットフォームを求めて、テクノロジーベンダーとの提携を検討しました。また、同社のサービスと、3 つの親銀行、他のペイメント・プラットフォーム、および電子商取引 Web サイトとの連携を向上させるため、アプリケーション・プログラミング・インタフェース (API) を作成し、作業の高速化と最適化を図りたいと考えていました。

Agapito 氏はこう語っています。「FinTech 各社を含むパートナー向けに、API ベースの共同作業環境を開発したいと考えています。この変化により当社は、一部の従来型金融機関の運用に見られる隔離された方法と比べて、市場における影響力と競争力を最大化できることでしょう。私たちは新しいテクノロジーと新しいパートナーを採用して、IT の観点から仕切り直しをしたいと考えていました」

アジャイルなエンタープライズ IT ソリューションのデプロイ

オープンソース・ソリューションを使用してこれらの新機能を実現するため、Elo は Red Hat と提携することにしました。「私たちはオープンソースを支持しています。1 つのテクノロジーやベンダーに縛られたくないのです」と Agapito 氏は言います。「そのため、Red Hat が理想的なパートナーであると判断しました」

Red Hat テクニカルアカウントマネージャー (TAM) による支援のもと、同社は複数の Red Hat 製エンタープライズ・テクノロジーをデプロイしました。

- Red Hat Enterprise Linux は、安定性に優れた実績あるオペレーティング・システムです。新しいアプリケーションのリリースや仮想化環境の標準化のための基盤を提供し、ハイブリッドクラウド・コンピューティングをサポートします。
- Red Hat OpenShift Container Platform は、Linux コンテナ、Kubernetes、およびその他のコンテナテクノロジーを統合して、パブリッククラウドまたはプライベートクラウドにおけるアプリケーションの開発とデプロイをサポートするソリューションです。
- Red Hat Ansible Tower は、シンプルな IT 自動化エンジンであり、クラウドのプロビジョニング、構成、デプロイメント、およびオーケストレーション機能を備えています。さらに、ロールベースのアクセス制御、ジョブのスケジューリング、およびインベントリ管理が可能な、管理用のビジュアル・ダッシュボードも提供します。
- Red Hat Satellite は、Red Hat インフラストラクチャのデプロイ、拡張、管理を容易に行うためのシステム管理ソリューションです。このソリューションは、システムが標準に準拠して効率的に稼働するよう、ユーザーによるシステムのプロビジョニング、構成、更新を支援します。
- Red Hat Gluster Storage は、クラウド環境に最適なスケールアウト型のファイルストレージです。このストレージ・プラットフォームは、ビッグデータ、非構造化データ、および半構造化データの管理と保護を容易に行うために役立ちます。

Elo は、Red Hat の TAM に加えて、セールスアーキテクトや Red Hat コンサルティングと協力しながら、これらの新しい Red Hat ソリューションを段階的にデプロイしました。Red Hat Enterprise Linux から順に行われたデプロイは、ソリューションごとにそれぞれ 4 日間から 2 週間で完了しました。

生産性の向上により革新性を維持

新サービスの市場投入時間を短縮

Elo は、新しい Red Hat 環境、特に Ansible Tower と OpenShift Container Platform で自動化を進めることによって、プロビジョニングやその他の IT プロセスを迅速化しています。「以前は、サーバー 1 つのデプロイに最長で 45 日かかっていました」と Agapito 氏は語ります。「Red Hat Ansible Tower を採用してからは、このプロセスがわずか 1-2 日で完了するようになりました」

通信とサービスの統合に使用される従来のポータル・アプリケーションをマイクロサービスに移行することで、必要に応じたスケーリングを迅速に行えるようになりました。新たなデプロイの際のダウンタイムは解消され、解決に時間のかかるプロダクション環境でのエラーも減らすことができています。

Elo は、開発とデプロイの時間を短縮することによって、Java™ API bot やマイクロサービスベースの新しいポータル (Node.js を使用して提供される新しい API を含む) など、新しいプロモーションやサービスをより迅速に作成、展開できるようになりました。

「アジリティに優れているため、当社のビジネスを他のペイメントカード・ブランドと差別化するうえで助けとなっています」と Agapito 氏は言います。「Red Hat OpenShift を使用すると、1-2 週間で概念実証 (PoC) を計画し完了できるため、開発の成果物をより早く本稼働へと進めることができ、競争上の優位性を保つことができます。OpenShift や他のコンテナ・プラットフォームの使用経験がない開発者も、この新しい環境でのコーディングが極めて簡単だと感じています。開発者はコードの作成とテストを行い、開発、テスト、ないしプロダクション用に送ります。チームのアジリティと効率性が変化しました」

管理と統合の単純化

Red Hat のエンタープライズ向けオープンソース・ソフトウェアによって、Elo では IT リソースをより容易に管理できるようになりました。また、Elo の既存ツールやプロセスへ Ansible Tower を組み込むことも、RESTful API とコマンドライン・インタフェース (CLI) を使用することで容易に実現しました。その結果、Elo ではデプロイメント、構成、およびオーケストレーションのプロセスなど、IT インフラストラクチャ管理を小規模な IT チームで簡単に行えるようになりました。

また、コンテナや Red Hat Enterprise Linux が提供する基盤を使用し、内部システムとリソースの統合性が高められたことで、ハイブリッドクラウド・コンピューティングへ備えるうえでも役立つ環境となっています。

Agapito 氏は次のように述べています。「Red Hat Enterprise Linux は、簡単に管理できる自動化インフラストラクチャを構築する上で不可欠でした。ハイブリッドクラウドへの移行には、高可用性や相互に接続された環境が欠かせませんが、Red Hat ではそれも実現できます」

Elo はさらに、パートナーとの連携を強化して、より包括的なサービスエコシステムを提供できるようになりました。同社では、当初は他の Linux プラットフォームや Microsoft Windows をベースとしていたこのエコシステムを、Red Hat Enterprise Linux に統合しました。また、コンテナを使用してネイティブのオープンソース API を開発し、決済アプリケーションの開発者が利用できるようにしています。その結果、Elo の 3 つの親銀行すべてのパートナーは、API を使用して Elo と直接対話し、API モデルを使用してサービスを実装できるようになりました。

このような改善の結果、Elo は Red Hat への投資を最大限活用できるようになりました。「当社の環境の 95% は Red Hat 製品で構成されています。これを最大限活用することは、当社にとって極めて重要です」と Agapito 氏は述べています。

セキュリティの強化

Ansible Tower がもたらした管理性の向上により、Elo では IT セキュリティに関する知見を得やすくなり、顧客や企業のデータを脅威やエラーから保護し、コンプライアンス要件を満たすうえでの助けとなっています。たとえば、Red Hat Satellite が提供するセキュリティ監査レポート、ロールベースのアクセス、サーバー監査に加え、SELinux (Security-Enhanced Linux) を使用するためのガイダンスを通じて、Elo は PCI DSS (ペイメントカード・インダストリー・データセキュリティ基準) 認証を取得することができました。

Agapito 氏はこう述べています。「機密性の高い財務データを保持する企業にとっては、コンプライアンスこそがすべてです。Ansible による自動化で人的ミスを排除できるため、規制を遵守し、企業の評判を守るために役立っています」

エキスパートによるガイダンスと知見

新しい Red Hat 環境のデプロイメントと運用を成功させるため、Elo の IT チームは Red Hat テクニカルアカウントマネージャー (TAM) との緊密な協力体制を築きました。このエキスパートは、技術面でのガイダンス、Red Hat 製品ロードマップに関する知見、予定されたアップデートに関するサポート、および直接のトラブルシューティング・サポートを提供します。

「ペイメントカード市場に新規参入する企業にとって、ダウンタイムは許されません」と Agapito 氏はいいます。「Red Hat TAM の協力を得ることで、私たちは問題が発生するよりも前に対策を立てて影響を軽減でき、万が一実際に問題が発生した際にも、解決することができます」

その結果、Elo は Red Hat 環境によって現在の IT とビジネスのニーズを満たしながら、環境の機能をさらに強化できる新たな革新的テクノロジーの知見も得ることができています。

市場におけるプレゼンスの拡大

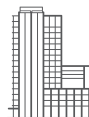
Elo は Red Hat のエンタープライズ向けオープンソース・ソフトウェアで最初の成功を収めた今、Red Hat OpenStack® Platform と Red Hat Ceph Storage の併用を評価して、顧客のクレジットカード取引のスコアリングとレビューのためのプラットフォームを作成する計画を立てています。

さらに Elo は、国際的な事業拡大を図り、ペイメントカード市場の革新に向けた新たなビジネスチャンス (新規の e コマースサイトやモバイル・アプリケーション・ベンダーとの提携など) を見出し続けるという目標に向けて、Red Hat 環境を活用していく予定です。

Agapito 氏は次のように述べています。「この市場における競争は激しいものです。新規参入企業がスピーディにブレイクスルーを達成することもあります。私たちはすばやくビジネスチャンスを見つけて、直ちに行動を起こさなければなりません。Red Hatのおかげで、それが可能になりました」

ELO について

Elo Serviços S.A. は、2011 年に設立されたブラジルのクレジットカードおよびデビットカード・ブランドです。同社は、ブラジルの大手銀行の 3 つである、Banco do Brasil、Bradesco、Caixa Econômica Federal のジョイントベンチャーとして創設されました。Elo は 12% の市場シェアを獲得しており、カードの発行枚数は 1 億 1500 万枚に上ります。



RED HAT について

オープンソースソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備えるクラウド、Linux、ミドルウェア、ストレージおよび仮想化テクノロジーを提供、さらにサポート、トレーニング、コンサルティングサービスも提供しています。Red Hat は、お客様、パートナーおよびオープンソースコミュニティのグローバルネットワークの中核として、成長のためにリソースを解放し、IT の将来に向けた革新的なテクノロジーの創出を支援しています。

アジア太平洋
+65 6490 4200

インドネシア
001 803 440224

ニュージーランド
0800 450 503

ベトナム
800 862 6691

オーストラリア
1 800 733 428

日本
03 5798 8510

フィリピン
800 1441 0229

中国
800 810 2100

ブルネイ / カンボジア
800 862 6691

韓国
080 708 0880

シンガポール
800 448 1430

香港
852 3002 1362

インド
+91 22 3987 8888

マレーシア
1 800 812 678

タイ
001 800 441 6039

台湾
0800 666 052



facebook.com/redhatjapan
@redhatjapan
linkedin.com/company/red-hat